

[フランス無声映画上映会] 鉄路の白薔薇 [La Roue]

監督:アベル・ガンズ

1923年 160分・20fps・35mm・無声・白黒
製作-シャルル・パテ、フィルム・アベル・ガンズ
脚本-アベル・ガンズ
撮影-L.H.ビュレル、マルク・ビュジャール、アルベール・
デュヴェルジェ、ガストン・ブリュン
助手-ブレイズ・サンドラルス、ウィリアム・ドゥラ・フォンテーヌ
出演-シジフ……………セヴラン=マルス
エリ……………ガブリエル・ドゥ・グラヴォヌ
ノルマ……………アイヴィ・クローズ
ジャック・ドゥ・エルサン…ピエール・マニエ
マシュフェール……………ジョルジュ・テロフ

ピアノ共演:長谷川慶岳



2007年12月15日(土) 17:30~20:30(開場は17:00)

●第1部:「黒の交響曲」……………17:30~19:10
……………(休憩)……………
●第2部:「白の交響曲」……………19:30~20:30

会場-京都国立近代美術館1階ロビー(岡崎公園内)
料金-500円(税込)
先着200席(前売券、当日券を発売いたします。)
前売券-チケットぴあ・ファミリーマート(Pコード:553-384)
ローソンチケット(Lコード:55608)
主催-京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター

京都国立近代美術館

お問い合わせ-〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
電話:075-761-4111 ホームページ-http://www.momak.go.jp
[交通]—●JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス⑤岩倉
行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●JR・近鉄京都駅前(D1のり
ば)から市バス⑩(急行)銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車
すぐ ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス⑤岩倉
行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●阪急烏丸駅・河原町駅、京
阪四條駅から市バス④⑥平安神宮行「京都都会館美術館前」下
車すぐ ●市バス他系統「東山二条」又は「京都都会館美術館前」
下車徒歩約5分 ●地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約5分

※企画展「新収作品展-寄贈されたM&Yコレクション池田満寿夫の版画」の入場時間は9:30~16:30です。(12月24日まで開催)

このたび京都国立近代美術館は、東京国立近代美術館フィルムセンターの全面的な協力のもとに、当館の長年の希望の一つであった映画の継続的上映を、両館の共催事業として立ち上げることとなりました。今後はフィルムセンターが所蔵する膨大なコレクションを中心に、美術館と映画という視点で様々なプログラムに挑戦していくつもりです。記念すべき最初の映画として、サイレント時代のフランス映画の名作『鉄路の白薔薇』が選ばれました。

独立行政法人国立美術館が発足した2001年から、私たちは法人内の各館が蓄積してきた所蔵作品や研究成果を、より緊密でより創造的に運用・公開する道を模索してきました。今回のフィルムセンターとの共同プロジェクトはその端緒の一つであり、これを契機として、既成の枠組みを横断する様々な企画が実現されていくことを希望しています。今回の試みがより大きく成長していくために、幅広いみなさまのご理解とご支援を切に願っています。(京都国立近代美術館)

老機関士の愛と苦悩を描いた壮大な叙事詩『鉄路の白薔薇』は、『戦争と平和』(1919)、『ナポレオン』(1927)などで知られるフランス映画の巨匠、アベル・ガンズの代表作です。列車事故で孤児となった少女を引き取り、やがて美しく成長した娘に恋心を抱くようになった老機関士の悲劇を、「フォトジェニック」な視覚表現と、実験的な映画技法で描きあげた無声映画芸術の金字塔であり、日本の黒澤明監督を含め世界映画史に最も大きな影響を与えた一本とされています。京都国立近代美術館との共同プロジェクトのはじまりに最適の作品としてこの映画を選びました。(東京国立近代美術館フィルムセンター)

今回、「鉄路の白薔薇」を伴奏するにあたって、簡単なテーマやコード進行を設定し、即興的に音楽を展開するという手法を採りました。あくまで主役は映画であるとの観点から、音楽はできるだけシンプルで抽象度の高いものになるよう心掛けています。(長谷川慶岳・ピアニスト-東京芸術大学音楽学部作曲科を経て、同大学院修士課程作曲専攻を修了。その後フランスに留学、パリ・エコール・ノルマル音楽院作曲科ディプロム・スーペリウールを首席で取得。現在、大阪音楽大学短期大学部専任講師。)



La
R
o
u
e